

2025 年春闘における J R 各社の新賃金回答に対する見解

国労は、第 194 回拡大中央委員会において 2025 年春闘方針を確立し、2 月 13 日に J R 各社に要求書を提出した。そして、3 月 4 日には各政党・国会議員に対して、J R における要員確保と離職防止、安全・安定輸送確立のための賃金・労働条件改善の働きかけ、J R 北海道・四国・貨物会社の安定経営のための抜本的な支援策の確立、地域公共交通の維持・活性化など喫緊の課題の解決を求めて要請を行い、さらに「2025 年春闘勝利！国労中央総決起集会」では、全国をリモートで結んで意思統一を深め、全組合員が参加する春闘の構築に向け、全力で取り組みを行ってきた。

2025 年春闘においては、J R 各社の運輸収入が大幅に改善され、過去最高益を更新したことや物価高を上回る賃上げが社会的に要請される情勢のもとで、ベア・ゼロを許さず、定期昇給の完全実施と基本給平均の 6.1%相当額、17,000 円を基本とする大幅賃上げの要求を掲げて、ストライキ態勢を確立しながら、粘り強い交渉を軸とした運動を積極的に展開し、全機関が一丸となって職場・地域から果敢な闘いを展開した。

2025 年度の新賃金交渉をめぐっては、3 月 6 日から 14 日にかけて、J R 7 社から回答が出されたが、昨年同様に要求の大きな柱として位置付けた定期昇給の完全実施と J R 九州会社の嘱託再雇用社員のベア 18,000 円を獲得したものの、いずれも私たちが求めた満額回答には及ばなかった。

本部は、あらためて今春闘において一定の成果を引き出すために奮闘した各級機関ならびに全組合員に心から敬意を表するとともに、本部に寄せられた叱咤激励に感謝申し上げる。

私たちは、公共交通を守るという社会的使命を背負ったエッセンシャルワーカーとして、安全・安定輸送の確立をめざす闘いを全力で取り組み、昼夜を分かたず、職場で懸命に奮闘してきた。

それだけに、食料品や日用品など生活必需品や各種サービス料金等の相次ぐ値上げのなかで我慢を強いられている社員と家族の労苦を考えれば、昨年と同様に今年度における J R 各社の回答額は、これに比べ得る十分なものとはいえず、納得できるものではない。とりわけ、歯止めがかからない実質賃金の低下傾向のなか、ベアは物価高騰に追いつかず、今年の賃上げだけでは賃金の実質的な目減りは到底食い止められるものではない。

J R 各社において、社員が仕事への誇りや将来への希望が持てず、若年層を中心に離職が増している深刻な現状の中で、誰もが競争に駆り立てられることなく、働きがいを持ち、安心して働き続けられる職場の再生が切実に求められている。

私たちは今春闘における闘いの成果や反省点を踏まえ、人間らしく働き続けるための期末手当満額獲得や賃金・労働条件改善等の闘いの前進に向けてさらに職場・地域から粘り強く闘う決意である。

いま、グループ・関連会社への業務の移管や外注化が深度化し、就業形態も重層構造化している。

とりわけ、新型コロナウイルスの感染拡大の終息以降、J R・グループ・関連会社全体で経費節減を理由とした業務委託費の打ち切りや兼務、副業、社外出向、ジョブ型雇用など働き方改革や勤務体系の見直しに名を借りた会社の効率化施策の推進によって、職場系統を問わず労働条件が悪化し、要員不足が深刻化している。

もはやグループ・関連会社の存在なくして安全・安定輸送の確立はあり得ず、すべての社員の賃金・労働条件や職場環境の改善によって、格差是正と底上げを図ることが急務である。

本日現在、地方においてグループ・関連会社との交渉が継続しているが、本部は引き続き、各エリア・地方本部と連携を図りながら、職場において労働組合の必要性を間断なく訴え、すべての働く仲間の賃金・労働条件改善に向けて取り組みを強化することとする。

今春闘の闘いでは全職場オルグの取り組みを通じて、近畿で新たな仲間を迎え入れることができたが、加入した仲間の決意を真摯に受け止め、今後さらに情報発信アプリ「TUNAG」を最大限活用しながら、全国に組織拡大運動を拡げ、創意工夫した取り組みによって、J R 職場やグループ・関連会社において社員の声を聞き、仲間の信頼を勝ち取ることが重要である。

私たちは、2025 年春闘の闘いで培った教訓のなかから、社員の期待に応え得る労働組合としてそれぞれの職場において労働者が直面する不安や悩み、仕事上の不満や疑問にしっかりと向き合いながら、健康で明るく働き続けられる職場環境づくりのため、各級機関での創意工夫した職場での目に見える活動・運動の展開を強化し、分会活動の活性化をはじめ、国労組織の最重要課題である組織の強化・拡大に向け、一丸となって奮闘することとする。

2025 年 3 月 26 日

国 鉄 労 働 組 合